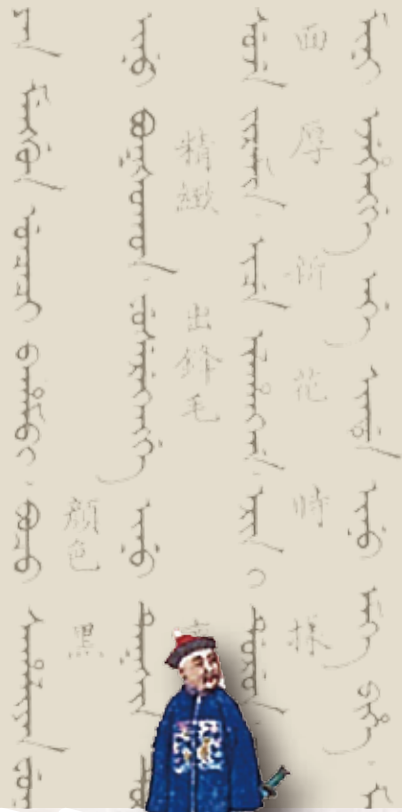


エリートたちの

東北アジア学術交流懇話会 平成27年公開講演会



講演 1

「満洲族の暮らしとことば」

落合守和 (おちあい もりかず)

首都大学東京 人文・社会系客員教授

講演 2

「清代北京城に暮らした

エリート

旗人たちの日常」

栗林 均 (くりばやし ひとし)

東北大学東北アジア研究センター教授



北京

～清代の日常風景～

時

は18世紀清朝の乾隆帝の時代、

所

は大清帝国の中心地北京城。

大清帝国の支配層が居住する北京城で、満洲族が自らの言葉を学ぶための会話学習書が出版された。

対話形式の百篇の話題を集めた、題して『一百条』。

そこには、当時の満洲族の日々の暮らしや人間関係に関わる生き生きとした情景が描かれている。

講演会では、『一百条』のテキストを通して、清朝の支配階層にいた満洲族の暮らしを見る。

2015. 5/22 (金) 15:00～17:00

会場：東北大学東京分室

聴講無料・要申込

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7番12号サピアタワー10階

Tel. 03-3218-9612 <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/bun/bun.html>



※聴講ご希望の方は、お名前・連絡先・勤務先を下記までお知らせ下さい。

Tel. 022-795-7580 または E-mail : gon@cneas.tohoku.ac.jp

(東北大学東北アジア研究センター内 東北アジア学術交流懇話会事務局)

申込締切 5/15 (金)

主催：東北アジア学術交流懇話会

共催：東北大学東北アジア研究センター